

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第2回茅野市縄文ふるさと大使シンポジウム
事業主体 (連絡先)	茅野市
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	402,249 円 (うち支援金: 301,000 円)

事業内容

- 1 「縄文を活かしたまちづくり」の上映
- 2 茅野市縄文ふるさと大使のご紹介
- 3 パネルディスカッション
「わたしの Chino Only」と茅野市への思い、縄文に対して思っていることや考え、縄文を活かしたまちづくり、大使としての今後の抱負、これからの茅野市に期待することなどについて意見交換する。
- 4 縄文のうた

シンポジウム開催 平成27年10月17日
茅野市民館 90名参加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

パネルディスカッションでは、「健康と美、リゾートを発信していくべき。国宝土偶からも、女性が元気なまちは豊かだと思う。」「20~30歳代の女性に魅力的なまちづくりをすることで、かつての縄文銀座のような元気なまちになるのでは。」「都会の子どもたちにも縄文について手で触れ、肌で感じられる機会が提供できれば。」「親子で縄文の歴史について楽しく学べるイベントがあると地域に広がりやすいのでは。」などの意見が出された。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

パネルディスカッションでは、「縄文の物語」など読み聞かせができる絵本の製作や、「縄文ふるさと大使と一緒に歩く遺跡の旅」といったウォーキングイベントの実施などの提案があった。これからのまちづくりのヒントとし、縄文を活かしたまちづくりにつながるような形で取り入れていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【シンポジウム】

【目標・ねらい】

- ①茅野市縄文ふるさと大使の周知
- ②茅野市縄文ふるさと大使の活動周知
- ③大使の意見をまちづくりのヒントにする

※自己評価 【 B 】

【理由】第1回シンポジウムより参加者を増やすことができた。パネルディスカッションでは、様々な立場から、有効な意見提言があった。